

2024年2月29日（研究機関長許可日）

「肺癌周術期治療における術後補助化学療法導入の実態調査」へご協力をお願い

一肺癌の手術治療を受けた患者さんへー 【通常診療情報の調査研究への使用のお願い】

高崎総合医療センター呼吸器内科では、以下の臨床研究を行っております。
内容をご確認ください。

（1）研究の概要

肺癌治療において根治治療を目指して手術を行うことがあります。その際により根治の可能性を高めることなどを目的とし手術の前後での化学療法を行うことがあります。近年その治療法において様々な薬剤での治療が保険適応となってきております。そのため、当院での術後補助化学療法としてどの程度の患者さんで行っているのか、あるいは安全に行えているのか、どの程度の効果が期待されるのかなどを調べる研究です。

【研究の意義】

肺癌周術期治療における当院での実態を調査することでより適切な治療選択ができるようになっていくことができると考えられます。

【研究の目的】

この研究は、当院での肺癌での周術期治療の実態を調べることを主な目的としています。そのため、対象調査期間中に肺癌に対する手術治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

（2）研究の方法

- ① この調査研究は高崎総合医療センター倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。
研究期間：研究機関長許可日 ～ 2025年4月30日まで
対象調査期間：2022年1月1日 ～ 2023年12月31日まで
- ② 今回の調査研究の対象は対象調査期間中に肺癌の手術治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データです。
情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、手術後の治療 等
- ③ 通常の診療で得られたデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- ④ 使用するデータは個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- ⑤ 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

作成日：2024年2月14日（第1版）

- ⑥ 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は高崎総合医療センターに帰属し、あなたには帰属しません。
- ⑦ この調査研究は、研究費を使用しません。また特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の連絡先まで連絡ください。その場合でも同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

高崎総合医療センター 呼吸器内科 医長

研究責任者：竹村 仁男

T E L : 027-322-5901(代) F A X : 027-327-1826(代)